



■ 地球沸騰化

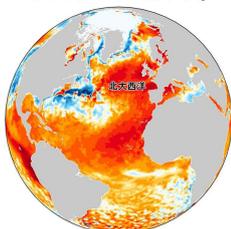
毎日猛暑日が続いています。梅雨明け直後の7月後半から8月上旬が一番暑い時期で、子供たちは夏休みの最中、皆元気に飛び回っていることでしょう。逆に高齢者は不要の外出を控えるように言われています。

ヨーロッパでは40℃を超える日が連続し、自然発生の山火事で住宅街への影響もあり、観光地で有名なギリシャロードス島では山火事のために夏のバカンスを楽しんでいた観光客に相当な影響を与えているようです。

梅雨の季節がないヨーロッパでは夏至を中心に6～7月ごろが一番暑い季節となりますが、一部の国ではすでに4月ごろから雨も少なく高温と早(ひでり)で農作物への大きな影響が出ています。さらに今までエアコンを設置したことの無い家庭もあって、人々の毎日の生活は酷暑に悩まされているとのこと。

国連のグテーレス事務総長は「地球は温暖化を通り越し沸騰化の時代」と警告しました。

<https://www.bbc.com/japanese/66333742> 参照



左は欧州連合の気候変動サービス機関が示した北大西洋の水温分布図です。まさに青い地球は真っ赤な地球になってしまいました。

▽ この暑い中でも争いは続いています。

毎日テレビでNHKワールドニュースを観ていると世界各地で起きている戦争や暴動の報道が絶えません。

このままでは世の中一層暑くなってしまおうでしょう。争いはなぜなくなるのでしょうか。国連の調整能力あるいは制度や体制そのものに限界があるのでしょうか。警告しても周りが動かなければ何の変化も生じません。

世界は二極化、対立化が進んでいます。カーボンニュートラルを目指すと言いながら、このような世界の状況下では沸騰が続き最後は全て蒸発してしまわないか心配です。

■ 活動報告「Online 会合(7/25)」

今回は広重の浮世絵「東海道五十三次」をみながら、江戸から京まで行き、今回は「東海道名所図会」と広重の浮世絵を比較しながら京から江戸に戻ってきました。報告は <http://jvc-senior.com/20230725online.pdf> 参照



■ この他の活動報告は次を参照ください。

- 7/15 「元気シャワー全開 ライブ in 練馬」
<http://jvc-senior.com/page339.html>
- 7/27 「カラオケ会」銀座コートダジュール
<http://jvc-senior.com/page340.html>

■ ソーラー発電とCO2削減

環境省資料によると関東甲信地域における世帯当たり平均電気使用量は令和2年度で3,897kwh(全国平均4,258kwh)となっています。

<https://www.env.go.jp/content/900446969.pdf> 参照

(この資料はCO2排出量の実態調査のまとめです。)

東京電力管内における電気料金は6月1日から1kwh当り5円ほど値上げされました。各家庭の電気代は年間で2万円ほどの負担増となります。

地球沸騰化で現在エアコンはフル回転していることでしょう。ソーラーパネルの設置で電気代をセーブする動きが活発化しています。

東京都では2025年4月から新築家屋にソーラーパネル設置の義務化が定められ、東電の関連会社や東京ガス他、いくつもの企業がいろいろな施策を打ち出してPRを展開しています。

世界的にCO2削減の取り組みとして再生エネルギー利用がうたわれており、国内においても各地でメガソーラー(太陽光発電所)の設置が進んでいます。これはCO2削減に功ありと言えど、一方で広大な設置場所を求めて森林伐採や、山地の開削造成、休眠農地からの転用、緑の草原が黒い反射パネルの丘に変身などと環境問題への影響を心配する声が大きくなっています。

実際に、大雨による土砂の流出、水質汚染などで周辺に問題をおこす事例も出ていて、建設地における周辺住民との摩擦もあります。この絵には太陽の反射光らしきものが描かれていますが、ISSからもこれを見ることができるでしょうか。(次項の関連記事参照)



■ 夜空を見上げよう

夏の夜空を彩る花火ですが、コロナ禍で中止されていた花火大会が今年是全国で展開されています。

真夏の暑さも時刻ともなれば少しは涼しくなるでしょう。そんな時、空を見上げてみましょう。

ISS(国際宇宙ステーション)が西から東に通りが過ぎていきます。直近で8月2日夕方7時過ぎにほぼ東京の上空を通過する予定。ISSは90分ほどで地球を一周しており、次にいつ観測できるかは「きぼう予報」を参照してください。 <https://lookup.kibo.space/>



■ 最低賃金全国平均、初の1,000円超え

今年春の賃闘では「一定の賃金上昇を獲得した」と言われていましたが、物価高騰はそれを上回っており庶民にとって生活が向上したとは言えない状況です。そのような中で小規模企業で働く低賃金の労働者、非正規雇用者などの最低賃金の検討が厚労省「中央最低賃金審議会」において労使の代表者間で議論を進めてきました。

そして7月28日にその目安額が答申されました。

最低賃金は地域の物価水準や雇用の需給バランスで決められ、今まで最高の東京都で1,072円、北東北、南九州等の10県で853円でした。その全国加重平均が961円となっていて、今回の審議での攻防ラインは1,000円でした。答申では平均41円を加え1,002円とするものです。従来から最賃の低い地域では1,000円にはとても及ばず、逆に東京などの都市圏ではすでに時給1,200円以上が相場となっているという話も聞きます。

41円のアップは、一日8時間で328円、月20日で6,560円となります。雇用者側は賃金上昇をどのようにカバーしていくのか課題が残ります。

単純に雇用削減とならないことを願うところです。

■ 事務局から

今月から令和6年度活動に入りました。総会開催案内や年会費納入お願いを9月上旬に郵送します。よろしくお祈いします。

1)8月29日(火)開催の浅草ニューオリンズジャズフェスティバル案内をご確認ください。

<http://jvc-senior.com/20230829jazz.pdf>

2)10月24日(火)に令和6年度総会を開催します。場所は、過去に何回も利用したことのある「横浜ハマボールイアス」です。多くの会員の皆様の参加を期待しています。この日を手帳に書き加えておいてください。

3)真夏の贈り物拝受

シニアクラブ本部に真夏の贈り物が届きました。贈り主は(神奈川支部)松原武司様。自身の畑で栽培し、三浦メロン、三浦スイカのブランドラベルを付けて、自宅倉庫で直売しているとのこと。7月の幹事会開催時に皆で美味しくいただきました。ありがとうございます。



本紙巻頭写真は松原様提供のもので、畑で育つスイカが写っています。 事務局長 田代 周